

この度は、北海道雪氷賞をいただき、ありがとうございました。高橋先生をはじめ、北見工大の先生方とともに、本研究がより発展するよう頑張りたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。(ヌアスムグリ・アリマス)

この度は、栄えある第 1 回目の北海道雪氷賞をいただき、ありがとうございました。論文は、「北

海道支部雪氷災害調査チーム」で執筆し、私はその代表として受賞したものと考えております。今後も、雪氷分野に貢献できるよう精進したいと思います。データ提供等にご協力いただきました関係機関の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。(金村直俊)



図 6 金村直俊会員

北海道支部機関誌「北海道の雪氷」発刊のご案内

2011 年度北海道支部研究発表会での発表論文を掲載した「北海道の雪氷」第 30 号が、今秋出版予定です。「北海道の雪氷」は、北海道支部ホームページ上に閲覧可能です。冊子体をご希望の方は有料で配布しますので、支部ホームページの注文サイトから申込み願います。「北海道の雪氷」に関する Web サイトは、下記のとおりです (<http://www.seppyo.org/hokkaido/publications/journal/jcontents>)。((独)土木研究所 寒地土木研究所 原田裕介)

(2011 年 5 月 31 日受付)

東北支部

東北支部大会の開催報告

2011 年度の東北支部大会(理事会, 総会, 授賞式, 特別講演会, 研究発表会)が 2011 年 5 月 20 日(金)・21 日(土)の両日にわたって、岩手大学



図 1 研究発表会の様子(撮影:小杉健二)

農学部(盛岡市上田 3-18-8)で開催され、会員を中心に延べ 34 名が参加し、特別講演会と 19 件の研究発表が行われた(図 1)。なお、今大会は日本雪工学会北東北支部と合同で行われた。

特別講演会では、森林総合研究所東北支所主任研究員の岡本 隆氏による「積雪地帯の地すべり」ならびに前岩手県土木技術センター技術相談所・所長の保 憲一氏による「岩手県内における降雪の実態及び百閒びらの全層雪崩に関する考察」の 2 件の講演が行われた。岡本氏の講演では比較的小規模で摩擦角が大きい斜面においては積雪荷重増により地すべりが抑制されることもあることなどを具体的な観測事例を引用して説明いただいた。保氏の講演は、岩手県内の降雪パターン of 地域特性のレビューから始まる網羅的構成で雪

崩発生区の半円構造の考察から力学的形状を考慮した対策工法の紹介, 雪崩崩発生予測の経験的試みについてお話しいただいた。

また, 今年度の東北雪氷賞が, 功績賞 2 名, 学術奨励賞 1 名に授与された。特別講演と研究発表の内容は今夏発行予定の「東北の雪と生活」26 号に掲載される予定である。なお, 今大会は東日本大震災のため日程を延期して行われたもので, 岩手大学農学部井良沢道也教授ほか岩手県会員諸兄に厳しい状況の中尽力していただいたことで開催にこぎつけた。ここに記して感謝の意に代えたい。来年度の東北支部大会は青森県で開催される予定である。

第 1 日目 5 月 20 日 (金)

理事会 9:15~10:45

総会・授賞式 11:00~12:15

[審議内容]

- ・ 2010 年度事業報告, 会計報告
- ・ 2011 年度事業計画, 予算計画
- ・ 2011 年度東北雪氷賞受賞者選考結果報告
- ・ その他

[東北雪氷賞受賞者]

功績賞: 故 東浦将夫 (元東北公益文科大学教授)

「東北支部の発展および雪氷防災実験棟の建設に寄与した功績」

功績賞: 三崎安則 ((株)アルゴス技術顧問)

「道路除雪機械化の先駆的技術を開発し普及させた功績, ならびに日本雪氷学会と雪工学会の合同研究発表会を軌道に乗せた功績」

学術奨励賞: 梅村 順 (日本大学工学部専任講師)

「ヒマラヤ地域の氷河湖決壊洪水災害に関する研究」

特別講演会 13:30~14:50

「積雪地帯の地すべり」

岡本 隆 (森林総合研究所東北支所・主任研究員)

「岩手県内における降雪の実態及び百閒びらの全層雪崩に関する考察」

保 憲一 (前岩手県土木技術センター技術相談所・所長)

研究発表会

積雪・雪崩 15:00~16:15

座長: 本谷 研 (秋田大学教育文化学部)

山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科)

1. インターバルカメラを使用した林内の積雪深の観測
野口正二 (森林総合研究所東北支所)
2. 平成 23 年の豪雪における新庄の雪質変化について
望月重人・阿部 修・佐藤 威・根本征樹・小杉健二 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
3. ビニールハウスにかかる積雪沈降力の計算と実測
阿部 修・佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
4. 山形県大蔵村で観測された自然発生の全層雪崩
阿部 修・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所), 小野正光 (株式会社双葉建設コンサルタント), 加藤 務 (テクノかとう)
5. 雪崩対策に伴う斜面雪圧の実規模野外観測
阿部孝幸 (KTB 協会), 松田 博・仲岡重治・滝本義久 (神鋼建材工業株式会社), 阿部 修・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)

着氷雪 16:30~17:15

座長: 赤田尚史 (環境科学技術研究所)

6. 電線サンプルを用いた湿型人工着雪実験方法の検討
佐藤研吾 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所), 西原 崇・杉本聡一郎・田中一成 (電力中央研究所)
7. 蔵王の樹氷の分布域の経年変化
柳澤文孝 (山形大学理学部)
8. 低温風洞による樹氷の生成・成長に関する実験的研究 (第 4 報)
本谷 研・小松聡祐子・高橋巨大・松本麻美 (秋田大学教育文化学部), 佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

第 2 日目 5 月 20 日 (土)

吹雪・融雪・雪氷化学 9:30~10:45

座長: 石田祐宣 (弘前大学大学院理工学研究科)

9. 吹雪の短時間変動に関する風洞実験
根本征樹・佐藤 威・望月重人 (防災科研雪氷防災研究センター新庄支所), 加藤 務 (テクノかとう)
10. 積雪ライシメーターに流入する融雪水の挙動について
小杉健二・阿部 修 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所), 柳澤文孝 (山形大学理学部), 木綿諒典 (山形大学大学院理工学研究科), 佐藤 威 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
11. 森林総合研究所宝川森林理水試験地における $\delta^{18}\text{O}$ を用いた融雪流出過程に関する研究
久保田多余子 (森林総合研究所東北支所), 坪山良夫・延廣竜彦 (森林総合研究所), 阿部俊夫 (森林総合研究所北海道支所), 壁谷直記・清水 晃 (森林総合研究所九州支所)
12. 完成仕上げの異なるボアホールでの採熱特性
山口正敏・沼澤喜一・山谷 睦 (日本地下水開発株式会社)
13. 2001 年 3 月に山形で観測された積雪中黄砂層に含まれる硫酸イオンの供給源とその寄与率
赤田尚史 (環境科学技術研究所), 柳澤文

孝・金山晋司・本山玲美・奥村信貴 (山形大学), 上田 晃 (富山大学)

気象・雪害 11:00~12:30

座長: 根本征樹 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)

- 小杉健二 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所)
 14. 2010 年 3 月 27 日秋田県沖で発生した小低気圧の事例解析
佐々木佳明・石川実可子・大類はるな (秋田県立大学生物資源学部), 本谷 研 (秋田大学教育文化学部)
 15. 大気循環の異常がもたらした 2010/11 年冬季の北日本の豪雪
力石國男 (ノースアジア大学教養部)
 16. 2011 年青森県の雪況
佐藤清一 (終身会員), 小関英明 (青森職業能力開発短期大学)
 17. 山形蔵王における雪氷現象の観測 (平成 22 年度)
沖田圭右 (日本地下水開発株式会社)
 18. 平成 22 年度の秋田県の雪害の特徴と最大積雪深の時系列変動
伊藤 颯 (日本雪工学会北東北支部長)
 19. 2008 年岩手・宮城内陸地震により被災した地域における二次災害防止のための気象・融雪観測
井良沢道也・高橋祐紀・馬場 潤 (岩手大学農学部)
- (秋田大学教育文化学部 本谷 研)
(2011 年 5 月 31 日受付)

北信越支部**2011 年度北信越支部大会の報告**

北信越支部では 5 月 14 日に福井市地域交流プラザ (アオッサ 6 階) において 2011 年度北信越支部大会 (総会, 支部賞授賞式, 研究発表・製品発表検討会, 技術交流会) を開催した (後援: 福井

雪技術研究会). 大会には合計 66 名が参加し, 研究発表・製品発表検討会では 30 件の発表があった (図 1).

総会では, まず 2010 年度事業報告・収支決算